

ふきあげちょうたじり こんどうぼさつりゅうぞう  
吹上町田尻の金銅菩薩立像

【所在地】鹿児島市城山町7-2 県歴史資料センター黎明館

【種別】県指定有形文化財（彫刻）

【指定年月日】平成19年4月24日



現在は銅鑄に覆われているが、元来は銅に鍍金したきらびやかな仏像であったと想像される。冠から足下の蓮華の一部まで16.3cmあり、台座と光背は失われている。緩やかなS字形の側面観や板金式の胸飾りなど、その形式や様式から7世紀半ばの製作が考えられ、九州で最も古い仏像の一つである。

南九州と中央との文化交流を歴史的に考察するための遺品として顕彰すべきものである。